

令和 2 年 度

小 牧 市 民 病 院 改 革 プ ラ ン
(平成29年度～令和2年度版)
決 算 比 較

令和3年 10月
小 牧 市

目 次

- 1 改革プランと令和2年度決算比較及び総括 ……………P 1
- 2 経営の効率化に対する取り組みの目標値と令和2年度決算比較 ……………P 2
- 3 改革プランと令和2年度決算との比較 ……………P 7
- 4 令和2年度決算と前年度決算との比較 ……………P 8
- 5 患者数等対目標値年度比較表 ……………P 9
- 6 財務指標等対目標値年度比較表 ……………P10
- 7 年度別経営指標 ……………P11

1 小牧市民病院改革プランと令和2年度決算比較及び総括

令和2年度は、新病院開院から1年が経過する中、新型コロナウイルス感染症がこの尾張北部医療圏でも拡大し、当院の医療提供体制にも多大な影響を及ぼしています。そうした状況下において、感染症患者の受入れを行いながらも診療機能を維持し、救急医療やがん診療連携拠点病院としての責務を果たすべく高度医療の提供に努めるとともに、地域の医療機関との連携を図りながら、安定的かつ効率的な病院運営を行ってまいりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う診療制限や患者の受診控えなどの影響を受け、入院患者数、外来患者数及び病床利用率は、改革プランに掲げた「経営の効率化に対する取り組みと数値目標」における目標値を達成しませんでした。入院、外来ともに一人1日当たりの診療収入は増加いたしました。

また、令和2年度は、平成29年3月に策定した小牧市民病院改革プラン（平成31年3月改訂）の最終年度に当たり、計画期間である4年間の実績を見てもみますと、旧病院から新病院へ移行した令和元年4月から6月頃の間は、患者数が減少し、その後回復傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、入院患者数、外来患者数ともに減少いたしました。

しかしながら、経営指標では、新病院建設に伴う減価償却費などの費用の増加により、経常収支比率や医業収支比率が100%を下回ったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取り組みに対する補助金の交付等により、経常収支比率については概ね目標値となりました。また、救急搬送入院率や高度医療機器稼働率の向上、さらには医療の質の向上により、入院、外来ともに一人1日当たりの診療収入が目標値を大きく上回る結果となりました。

高度化する医療への対応と療養環境の改善を図るため、新病院を開院しましたが、新型コロナウイルス感染症の終息の見込みが立たず、新たに備えた機能を最大限に活かすきれていない状況が続いています。

そのような中、本年3月に策定した小牧市民病院改革プラン（2021年度～2025年度版）では、高度医療機器・高度医療施設の稼働率の向上に向けた取り組みを推進し、新規入院患者数の増加や外来患者の集患対策を強化するとともに、新病院開院に伴い増大した経費の削減などにより経営の効率化を図ることとし、令和8年度の経常収支黒字化を目標に掲げたところであります。

今後も、全国的に厳しい病院経営が続くと予測されますが、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑えながら健全経営に努め、安全で質の高い急性期医療を提供し、尾張北部医療圏の中核病院として地域の皆様の期待に応えられるよう一層の努力を重ねてまいります。

2 経営の効率化に対する取り組みの目標値と令和2年度決算比較

小牧市民病院改革プランでは、主要な経営指標（経常収支比率、経常損益額、職員給与費対医業収益比率、病床利用率、平均在院日数など）について数値目標を掲げました。

令和2年度の目標値と決算との比較は下記の表のとおりです。

◇収入増加・確保対策

ア 病床利用率の向上と平均在院日数の短縮について

○入院収益の目標値比較 (単位：百万円)

年 度	令和2年度 計 画 ①	令和2年度 決 算 ②	令和元年度 決 算	②／①
入 院 収 益	12,521	12,101	12,023	96.6%

○入院患者数の目標値比較 (単位：人)

年 度	令和2年度 計 画 ①	令和2年度 決 算 ②	令和元年度 決 算	②／①
入 院 患 者 数	175,400	149,759	165,626	85.4%
1日平均患者数	481	410	453	

○病床利用率の目標値比較 (単位：%)

年 度	令和2年度 計 画 ①	令和2年度 決 算 ②	令和元年度 決 算	②／①
病 床 利 用 率	84.5	72.2	79.4	85.4%

○平均在院日数の目標値比較 (単位：日)

年 度	令和2年度 計 画 ①	令和2年度 決 算 ②	令和元年度 決 算	②／①
平均在院日数	10.7	10.7	11.2	100.0%

○病床利用率の向上と平均在院日数の短縮の分析について

クリニカルパス※2による医療の標準化や入退院支援の充実など、入院から退院までの療養計画を効率的かつ効果的に行い、医療の質を落とすことなく病床管理対策を行ってきました。また、令和2年10月には経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）実施施設認定を受け治療を開始しています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により入院患者数が前年度比で減少し、一人あたりの入院診療収入は増加したものの、入院収益及び病床利用率はそれぞれ目標値を下回りました。

平均在院日数は、他病院と比較して長い傾向のあった誤嚥性肺炎の患者に

ついて後方支援病院との連携強化を実施したことや、DPCから推察する適正な入院期間の管理を強化したことなどにより、前年度比で0.5日短縮し目標値を達成しました。

※2：医療提供を効率的に行うための工程管理手法

イ 外来患者数について

○外来収益の目標値比較

(単位：百万円)

年 度	令和2年度 計 画 ①	令和2年度 決 算 ②	令和元年度 決 算	②／①
外 来 収 益	6,439	6,741	6,570	104.7%

○外来患者数の目標値比較

(単位：人)

年 度	令和2年度 計 画 ①	令和2年度 決 算 ②	令和元年度 決 算	②／①
外 来 患 者 数	291,600	278,024	295,292	95.3%
1日平均患者数	1,200	1,144	1,230	

○外来患者数の分析について

治療の標準化と病床の有効活用の観点から、入院検査、術前・術後の検査など外来で行うことができる検査は外来で行うように徹底し、また、紹介患者の円滑な受け入れ体制を整えるため、症状が安定した患者を地域のかかりつけ医へ積極的に逆紹介し、当院での治療が必要な患者を積極的に受け入れました。さらには、新病院におけるPET-CTの導入や化学療法室の増床など、地域の中で当院が果たすべき役割を強化しつつ、集患のための取組みを進めました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により外来患者数は前年度比で減少し目標値を下回りました。一方で、がん治療等における高額薬剤の使用が増えたことなどにより一人当たりの外来診療収入は増加し、外来収益は増収となったことから目標値を上回りました。

ウ 診療報酬請求について

診療報酬請求の精度向上のため、医師や看護師、事務職員、委託職員を対象とした診療報酬請求に関する講習会を実施しました。また、毎月各診療科で開催するカンファレンスに事務職員が参加し、診療報酬の査定傾向などの情報共有に努めました。

エ 未収金対策について

電話による速やかな催告を積極的に行い、発生段階での対応に取り組みま

した。また、小牧市保険医療課と連携し未収金対策を強化しました。

◇経費削減・抑制対策

オ 委託費の見直しについて

委託契約については、委託業務内容を十分検討し、仕様の見直しや価格交渉に取り組みました。しかしながら、新病院開院に合わせて購入した医療機器のメーカー無償保守の期限満了に伴い医療機器保守等の費用が増加し、委託費全体では増額となりました。

カ 薬品の見直しについて

薬局を中心に、後発医薬品の採用を拡大するとともに、納入業者との単価交渉等に取り組みました。一方で、がん治療薬などの高額な薬剤を用いる患者数の増加などにより、薬剤費全体では増額となりました。

キ 診療材料の見直しについて

管財課を中心に、材料価格について納入業者との単価交渉や、使用材料の見直しなどに取り組みました。一方で、ダヴィンチ手術を行う診療科の拡大や経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）の開始、冠動脈カテーテル治療やアブレーションが増加したことにより、診療材料費全体では増額となりました。

材料費の内訳

(単位：百万円)

項目	令和元年度	対医業収益 比率	令和2年度	対医業収益 比率
材料費	6,062	31.2%	6,311	32.4%
うち薬品費	3,717	19.1%	3,921	20.1%
うち材料費	2,322	12.0%	2,382	12.2%

ク 備品等の見直しについて

多職種で構成した購入等物品機種選定委員会により、医療機器の選定を行いました。購入単価については個別に調査・検討し、納入業者との交渉に取り組みました。

ケ エネルギーサービス事業の実施について

平成28年度より準備を進めてきたエネルギーサービス事業については、専門事業者による効率的なエネルギー供給により、省エネルギー対策やランニングコストの削減に努めました。

◇財務全般に係る目標数値比較

	項 目	令和2年度 計 画 ①	令和2年度 決 算 ②	令和元年度 決 算	②/①
(1)	経常収支比率 (%)	97.7	97.4	91.8	99.7%
(2)	医業収支比率 (%)	93.2	87.3	88.7	93.7%
(3)	職員給与費対医業 収益比率 (%)	47.2	50.1	50.0	106.1%
(4)	資金不足比率 (%)	0.0	0.0	0.0	—
(5)	入院患者一人1日 当たりの診療収入 (円)	71,400	80,809	72,592	113.2%
(6)	外来患者一人1日 当たりの診療収入 (円)	22,100	24,247	22,249	109.7%

◇医療機能（5疾病5事業等）に係る目標数値比較

	項 目	令和2年度 計 画 ①	令和2年度 決 算 ②	令和元年度 決 算	②/①
5 疾 病	が ん (人)	3,500	3,232	3,189	92.3%
	脳 卒 中 (人)	700	526	515	75.1%
	急性心筋梗塞 (人)	200	139	148	69.5%
	糖 尿 病 (人)	110	94	72	85.5%
	精 神 疾 患 (人)	35	22	15	62.9%
5 事 業	救 急 医 療 (人)	27,000	17,930	21,284	66.4%
	周 産 期 医 療 (件)	350	335	363	95.7%
	小 児 医 療 (人)	8,000	4,402	7,012	55.0%
	災 害 医 療 (件)	—	—	—	—
	へ き 地 医 療 (件)	—	—	—	—
	救急医療入院率 (%)	35.0	31.5	29.0	90.0%
	がん治療連携医療機関数 (件)	150	166	161	110.7%
	臨床研修医の受入数 (人)	24	22	22	91.7%
	患者満足度 (入院) (%)	88.0	90.8	80.5	103.2%
	患者満足度 (外来) (%)	79.0	75.0	78.5	94.9%

※5疾病は、がん（大腸、胃、肝、乳、肺など）、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下など）、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾病の延べ入院患者数を表示してあります。

※5事業は、救急医療（救急外来患者数）、周産期医療（分娩数）、小児医療（小児科入院数）、災害医療、へき地医療の件数を表示してあります。

※臨床研修医の受入数は、研修医1年生と2年生の受入人数です。

※患者満足度は、満足、やや満足を足した数字です。

◇収支計画に係る目標数値比較 (上段：目標値、下段：決算額)

(単位：百万円)

		令和元年度	令和2年度
収 益	医業収益	19,577	19,887
		19,424	19,657
	医業外収益	1,825	2,011
		1,748	3,407
経常収益 (A)	21,402	21,898	
	21,172	23,064	
費 用	医業費用	21,181	21,333
		21,904	22,517
	医業外費用	1,217	1,080
		1,169	1,170
経常費用 (B)	22,398	22,413	
	23,073	23,687	
経常損益 (A)－(B) (C)		△996	△515
		△1,901	△623
経常収支比率(%) (A)/(B)		95.6	97.7
		91.8	97.4
特 別 損 益	特別利益 (D)	42	66
		550	173
	特別損失 (E)	1,209	364
		988	664
特別損益 (D)－(E) (F)		△1,167	△298
		△438	△492
純損益 (C)+(F)		△2,163	△813
		△2,339	△1,114
資本的収入		3,255	1,838
		3,126	1,250
資本的支出		5,336	3,230
		5,156	3,401
資本的収支差引額		△2,081	△1,392
		△2,030	△2,151

3. 改革プランと令和2年度決算との比較

1. 収支計画（収益的収支）

（単位：百万円）

年度		2年度 新改革プラン 計画①	2年度 決算②	②/①	
区分					
収 入	1. 医 業 収 益 a	19,887	19,657	98.8%	
	(1) 料 金 収 入	18,960	18,843	99.4%	
	入 院 収 益	12,521	12,102	96.7%	
	外 来 収 益	6,439	6,741	104.7%	
	(2) そ の 他	927	814	87.8%	
	うち他会計負担金	139	148	106.5%	
	2. 医 業 外 収 益	2,011	3,407	169.4%	
	(1) 他会計負担金・補助金	646	572	88.5%	
	(2) 国（県）補助金	23	1,516	6591.3%	
	(3) 長期前受金戻入	1,163	1,135	97.6%	
	(4) そ の 他	179	184	102.8%	
	経 常 収 益 (A)	21,898	23,064	105.3%	
	支 出	1. 医 業 費 用 b	21,333	22,517	105.6%
		(1) 職 員 給 与 費 c	9,378	9,849	105.0%
(2) 材 料 費		5,667	6,311	111.4%	
(3) 経 費		3,431	3,502	102.1%	
(4) 減 価 償 却 費		2,782	2,759	99.2%	
(5) そ の 他		75	96	128.0%	
2. 医 業 外 費 用		1,080	1,170	108.3%	
(1) 支 払 利 息		135	105	77.8%	
(2) 保 育 費		74	74	100.0%	
(3) そ の 他		871	991	113.8%	
経 常 費 用 (B)		22,413	23,687	105.7%	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		△ 515	△ 623	121.0%	
特 別 損 益		1. 特 別 利 益 (D)	66	173	262.1%
		2. 特 別 損 失 (E)	364	664	182.4%
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	△ 298	△ 491	164.8%	
純 損 益 (C)+(F)	△ 813	△ 1,114	137.0%		
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	-		
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	14,592	15,532	106.4%	
	流 動 負 債 (イ)	4,187	3,717	88.8%	
	うち一時借入金			-	
	翌年度繰越財源(ウ)			-	
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)			-	
	不 良 債 務 (オ)			-	
	差引 {(イ)-(エ)}-{(ア)-(ウ)}	△ 10,405	△ 11,815	113.6%	
単 年 度 資 金 不 足 額	0	0	-		
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	97.7%	97.4%	99.7%		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	-		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	93.2%	87.3%	93.7%		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	47.2%	50.1%	106.1%		
病 床 利 用 率	84.5%	72.2%	85.4%		

2. 収支計画（資本的収支）

（単位：百万円）

年度		2年度 新改革プラン 計画①	2年度 決算②	②/①	
区分					
収 入	1. 企 業 債	900	170	18.9%	
	2. 他 会 計 出 資 金			-	
	3. 他 会 計 負 担 金	938	987	105.2%	
	4. 他 会 計 借 入 金			-	
	5. 他 会 計 補 助 金		106	-	
	6. 国（県）補助金			-	
	7. そ の 他		5	皆増	
	収 入 計 (a)	1,838	1,268	69.0%	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)		18	-	
	前年度同意債で当年度借入分 (c)			-	
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	1,838	1,250	68.0%	
	支 出	1. 建 設 改 良 費	1,471	1,174	79.8%
		2. 企 業 債 償 還 金	1,578	1,578	100.0%
		3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金			-
4. そ の 他		181	649	358.6%	
支 出 計 (B)		3,230	3,401	105.3%	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	1,392	2,151	154.5%		
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	545	1,427	261.8%	
	2. 利 益 剰 余 金			-	
	3. 減 債 積 立 金	189	189	100.0%	
	4. 建 設 改 良 積 立 金	636	310	48.7%	
	5. そ の 他	22	225	1022.7%	
計 (D)	1,392	2,151	154.5%		
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	-		
当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (F)			-		
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	-		

3. 一般会計からの繰入金

（単位：千円）

年度		2年度 新改革プラン 計画①	2年度 決算②	②/①
区分				
収 益 的 収 支		808,000	720,870	89.2%
資 本 的 収 支		938,000	987,147	105.2%
合 計		1,746,000	1,708,017	97.8%

4. 令和2年度決算と前年度決算との比較

1. 収益的収支決算比較

(単位:百万円、%)

年度		元年度 決算①	2年度 決算②	②-①	②/①	
収 入	1. 医 業 収 益 a	19,424	19,657	233	101.2%	
	(1) 料 金 収 入	18,593	18,843	250	101.3%	
	入 院 収 益	12,023	12,102	79	100.7%	
	外 来 収 益	6,570	6,741	171	102.6%	
	(2) そ の 他	831	814	△ 17	98.0%	
	うち他会計負担金	139	148	9	106.5%	
	2. 医 業 外 収 益	1,748	3,407	1,659	194.9%	
	(1) 他会計負担金・補助金	620	572	△ 48	92.3%	
	(2) 国（県）補助金	28	1,516	1,488	5414.3%	
	(3) 長期前受金戻入	940	1,135	195	120.7%	
	(4) そ の 他	160	184	24	115.0%	
	経 常 収 益 (A)	21,172	23,064	1,892	108.9%	
	支 出	1. 医 業 費 用 b	21,904	22,517	613	102.8%
		(1) 職 員 給 与 費 c	9,707	9,849	142	101.5%
		(2) 材 料 費	6,062	6,311	249	104.1%
(3) 経 費		3,575	3,502	△ 73	98.0%	
(4) 減 価 償 却 費		2,293	2,759	466	120.3%	
(5) そ の 他		267	96	△ 171	36.0%	
2. 医 業 外 費 用		1,169	1,170	1	100.1%	
(1) 支 払 利 息		114	105	△ 9	92.1%	
(2) 保 育 費		74	74	0	100.0%	
(3) そ の 他		981	991	10	101.0%	
経 常 費 用 (B)	23,073	23,687	614	102.7%		
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	△ 1,901	△ 623	1,278	32.8%		
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	550	173	△ 377	31.5%	
	2. 特 別 損 失 (E)	988	664	△ 324	67.2%	
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	△ 438	△ 491	△ 53	112.1%	
純 損 益 (C)+(F)	△ 2,339	△ 1,114	1,225	47.6%		
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	-		
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	16,755	15,532	△ 1,223	92.7%	
	流 動 負 債 (イ)	3,406	3,717	311	109.1%	
	うち一時借入金				-	
	翌年度繰越財源(ウ)				-	
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)				-	
差引 不 良 債 務 (オ)	△ 13,349	△ 11,815	1,534	88.5%		
[(イ)-(エ)]-[(ア)-(ウ)]						
単 年 度 資 金 不 足 額	0	0	0	-		
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	91.8%	97.4%	-	106.1%		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	-	-		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	88.7%	87.3%	-	98.4%		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	50.0%	50.1%	-	100.2%		
病 床 利 用 率	79.4%	72.2%	-	90.9%		

2. 資本的収支決算比較

(単位:百万円、%)

年度		元年度 決算①	2年度 決算②	②-①	②/①
収 入	1. 企 業 債	2,000	170	△ 1,830	8.5%
	2. 他 会 計 出 資 金				-
	3. 他 会 計 負 担 金	1,329	987	△ 342	74.3%
	4. 他 会 計 借 入 金				-
	5. 他 会 計 補 助 金		106		-
	6. 国（県）補助金			0	皆減
	7. そ の 他	9	5	△ 4	55.6%
	収 入 計 (a)	3,338	1,268	△ 2,070	38.0%
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	212	18		-
	前年度同意債で当年度借入分 (c)				-
純計(a)-[(b)+(c)] (A)	3,126	1,250	△ 1,876	40.0%	
支 出	1. 建 設 改 良 費	3,414	1,174	△ 2,240	34.4%
	2. 企 業 債 償 還 金	1,077	1,578	501	146.5%
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金				-
	4. そ の 他	665	649	△ 16	97.6%
	支 出 計 (B)	5,156	3,401	△ 1,755	66.0%
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	2,030	2,151	121	106.0%	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,007	1,427	420	141.7%
	2. 利 益 剰 余 金				-
	3. 減 債 積 立 金	474	189	△ 285	39.9%
	4. 建 設 改 良 積 立 金	480	310	△ 170	64.6%
	5. そ の 他	69	225	156	326.1%
計 (D)	2,030	2,151	121	106.0%	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	-	
当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (F)				-	
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	-	

3. 一般会計からの繰入金比較

(単位:千円)

年度		元年度 決算①	2年度 決算②	②-①	②/①
収 益 的 収 支		758,927	720,870	△ 38,057	95.0%
資 本 的 収 支		1,328,650	987,147	△ 341,503	74.3%
合 計		2,087,577	1,708,017	△ 379,560	81.8%

5. 患者数等対目標値年度比較表(総括)

(上段:目標値、下段:決算値)

◇入院患者数の目標値比較

(単位:人)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入 院 患 者 数	171,500	170,500	175,400
	162,763	165,626	149,759
1 日 平 均 患 者 数	470	466	481
	446	453	410

◇病床利用率の比較

(単位:%)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
病 床 利 用 率	77.1	82.0	84.5
	73.0	79.4	72.2

◇平均在院日数の比較

(単位:日)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
平 均 在 院 日 数	10.9	10.8	10.7
	10.6	11.2	10.7

◇外来患者数の目標値比較

(単位:人)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
外 来 患 者 数	317,200	300,000	291,600
	311,412	295,292	278,024
1 日 平 均 患 者 数	1,300	1,250	1,200
	1,276	1,230	1,144

6. 財務指標等対目標値年度比較表(総括)

(上段:目標値、下段:決算値)

◇財務全般に係る指標対目標値年度比較

	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
(1)	経常収支比率(%)	100.1	95.6	97.7
		97.2	91.8	97.4
(2)	医業収支比率(%)	102.0	92.4	93.2
		98.7	88.7	87.3
(3)	職員給与費対医業収益比率(%)	47.6	47.9	47.2
		49.8	50.0	50.1
(4)	資金不足比率(%)	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0
(5)	入院患者一人1日当たりの診療収入(円)	71,500	71,500	71,400
		71,757	72,623	80,836
(6)	外来患者一人1日当たりの診療収入(円)	21,000	21,600	22,100
		20,904	22,288	24,289

◇医療機能(5疾病5事業等)に係る目標数値比較

	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
5 疾 病	が ん (人)	3,500	3,500	3,500
		3,491	3,189	3,232
	脳 卒 中 (人)	700	700	700
		548	515	526
	急 性 心 筋 梗 塞 (人)	200	200	200
		154	148	139
	糖 尿 病 (人)	110	110	110
78		72	94	
精 神 疾 患 (人)	35	35	35	
	17	15	22	
5 事 業	救 急 医 療 (人)	24,000	25,000	27,000
		24,309	21,284	17,930
	周 産 期 医 療 (件)	350	350	350
		344	363	335
	小 児 医 療 (人)	8,000	8,000	8,000
		7,679	7,012	4,402
	災 害 医 療 (件)	—	—	—
—		—	—	
へ き 地 医 療 (件)	—	—	—	
	—	—	—	
臨床研修医の受入人数(人)	23	24	24	
	21	22	22	

- 5疾病は、がん(大腸、胃、肝、乳、肺など)、脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下など)、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾病の延べ入院患者数を表示しています。
- 5事業は、救急医療(救急外来患者数)、周産期医療(分娩数)、小児医療(小児科入院数)、災害医療、へき地医療の件数を表示しています。
- 臨床研修医の受入数は、研修医1年生と2年生の受入人数です。

7. 年度別経営指標

項 目		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	経営指標
(1) 経常収支比率 (%)		102.2	100.2	97.2	91.8	97.4	101.7
(2) 医業収支比率 (%)		101.9	100.0	98.7	88.7	87.3	97.6
(3) 他会計繰入金対医業収益比率 (%)		3.2	3.3	3.9	3.9	3.7	6.9
(4) 職員給与費対医業収益比率 (%)		48.7	49.3	49.8	50.0	50.1	45.1
(5) 病床利用率 (%)		79.7	77.7	73.0	79.4	72.2	80.1
(6) 平均在院日数 (日)		11.0	10.9	10.6	11.2	10.7	-
(7) 患者紹介率 (%)		65.8	68.1	64.9	67.2	67.0	-
(8) 100床当たり一日平均患者数	入院(人)	87.0	84.8	79.9	87.0	78.8	81.7
	外来(人)	249.0	235.4	228.7	236.6	220.0	212.5
(9) 患者一人1日当たり診療収入	入院(円)	67,393	68,688	71,757	72,623	80,836	77,377
	外来(円)	19,402	20,193	20,904	22,288	24,289	22,782
(10) 職員一人1日当たり診療収入	医師(円)	296,248	291,292	292,527	288,646	275,777	338,200
	看護部門(円)	73,295	72,728	74,114	77,203	76,938	84,757
(11) 病床100床当たり職員数	医師(人)	30.0	30.7	29.9	34.4	36.0	27.3
	看護部門(人)	124.0	123.3	120.1	127.8	129.0	106.6
	全体(人)	200.1	200.9	197.7	215.3	222.1	181.4
(12) 資金期末残高 (百万円)		20,549	22,351	21,434	12,872	10,631	7,076

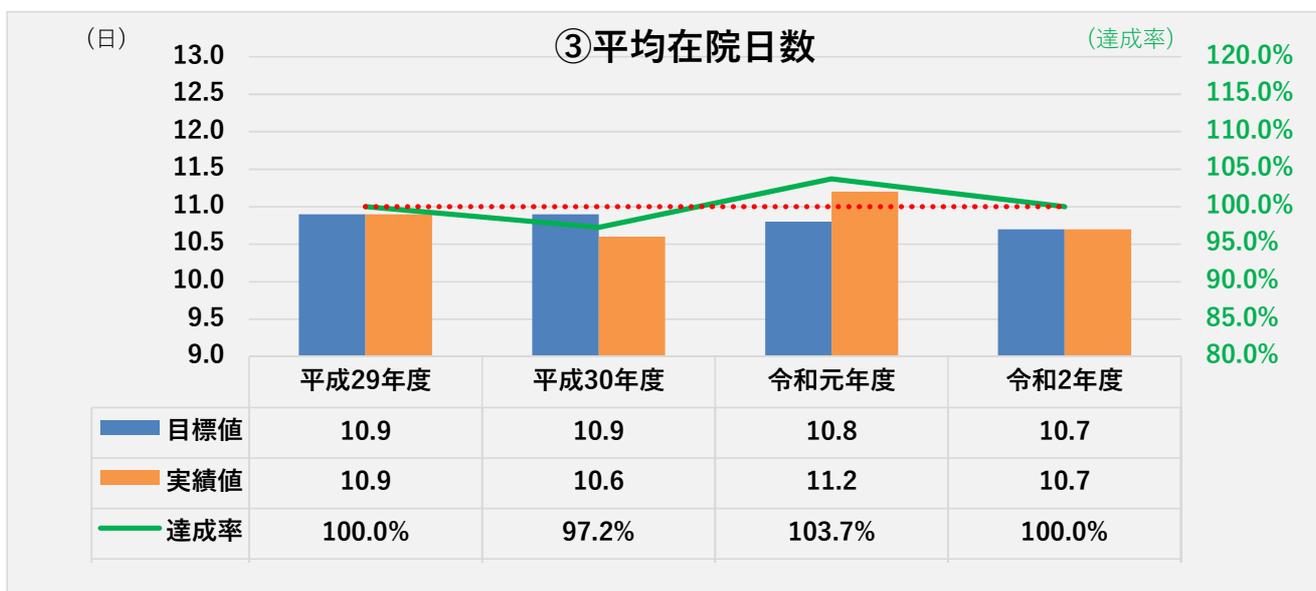
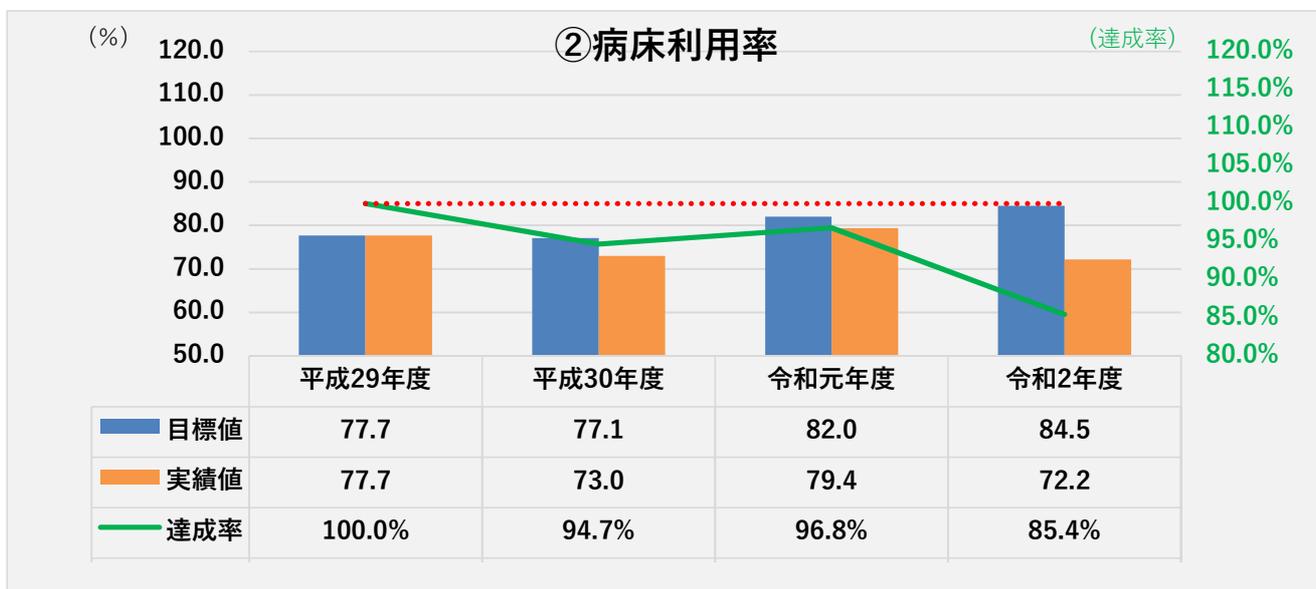
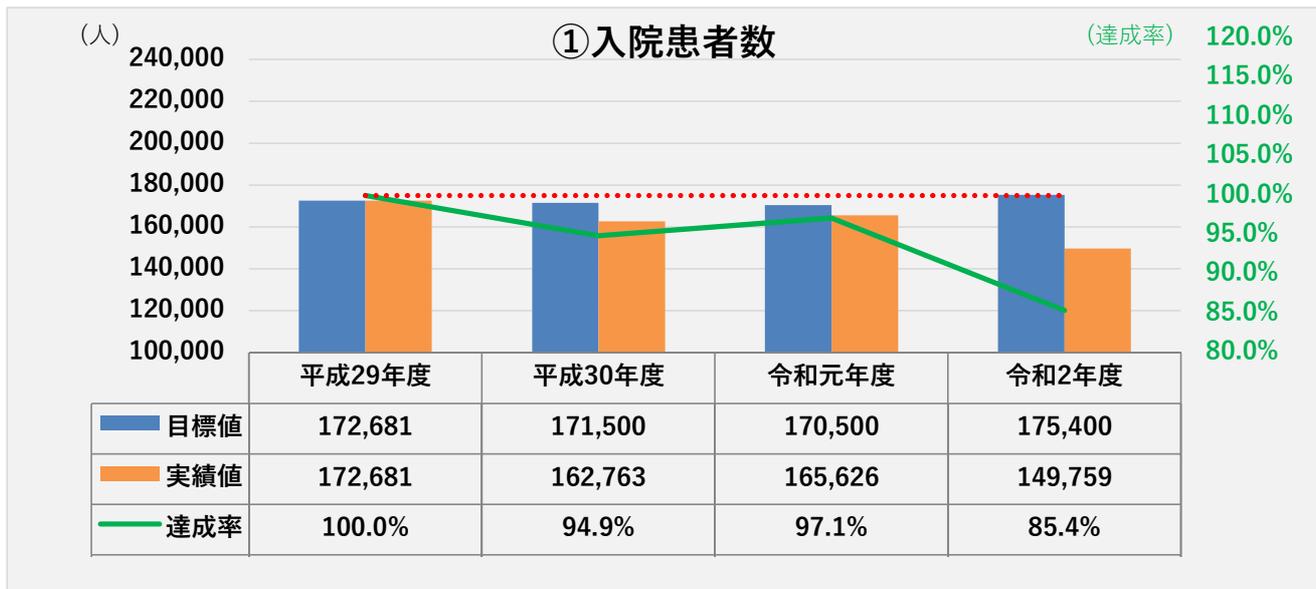
(注1) 同機能病院として、総務省「令和元年度決算統計データ」より、独立行政法人を除く公立病院のうち、DPC特定病院群であり、病床数が500床以上の7:1看護配置かつ救急告示病床数が20床以上を有する病院を抽出。

(注2) 経営指標の対象は、(注1)の対象である合計19病院のうち黒字病院である10病院。

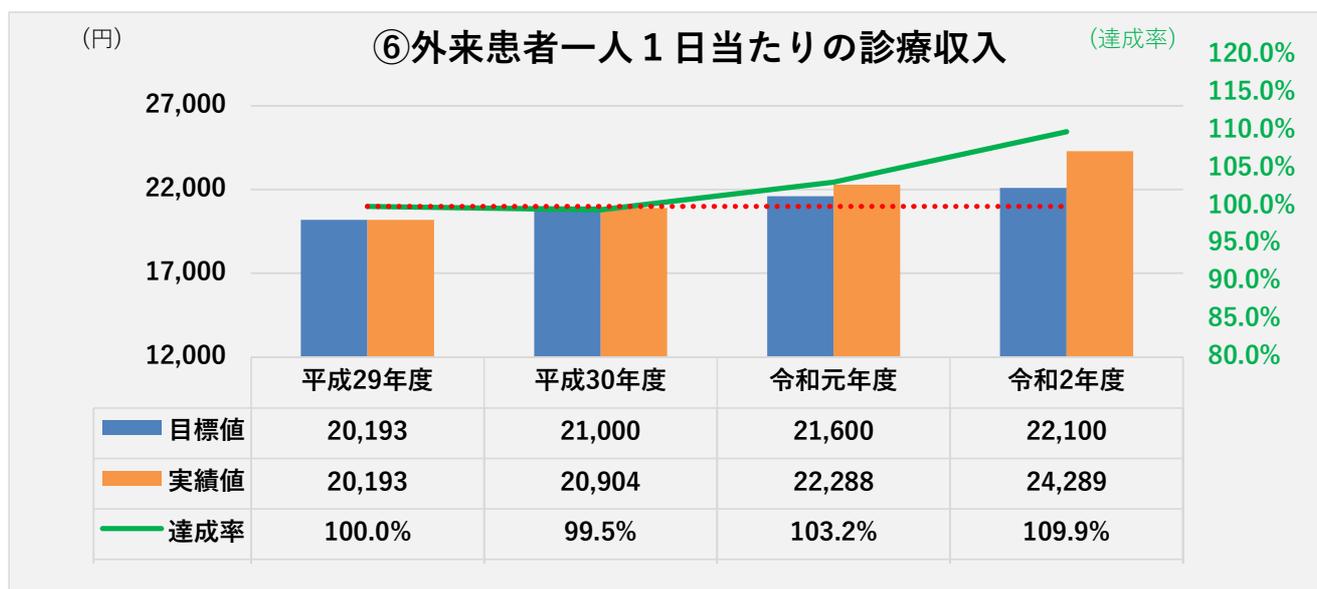
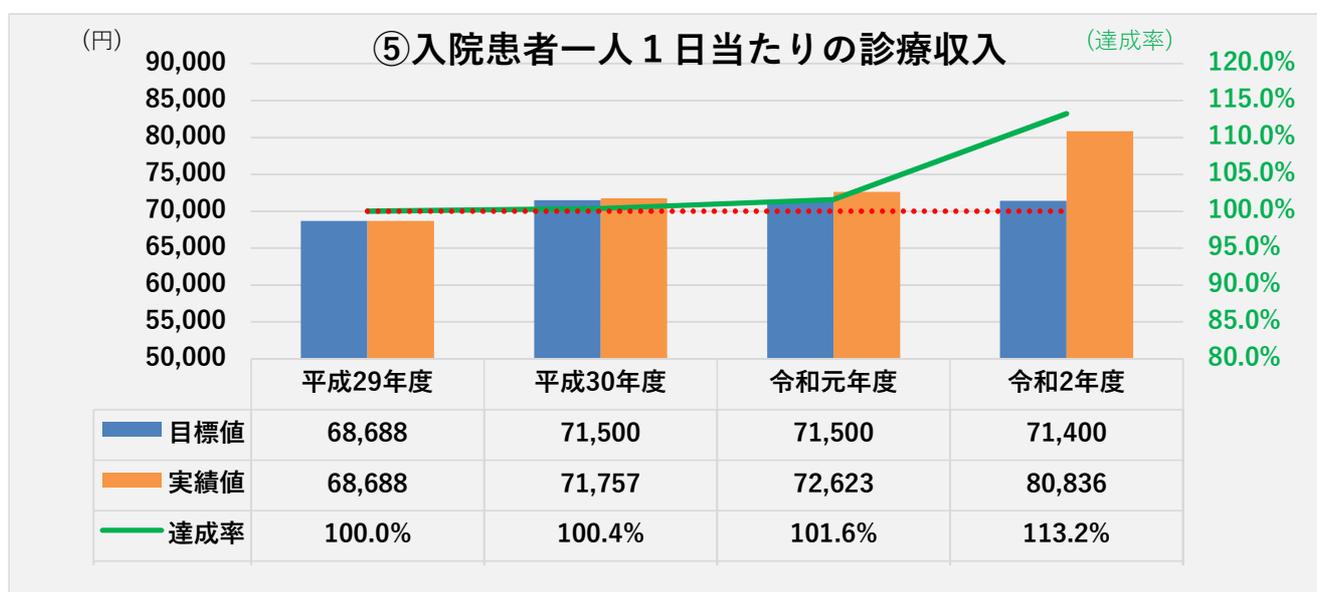
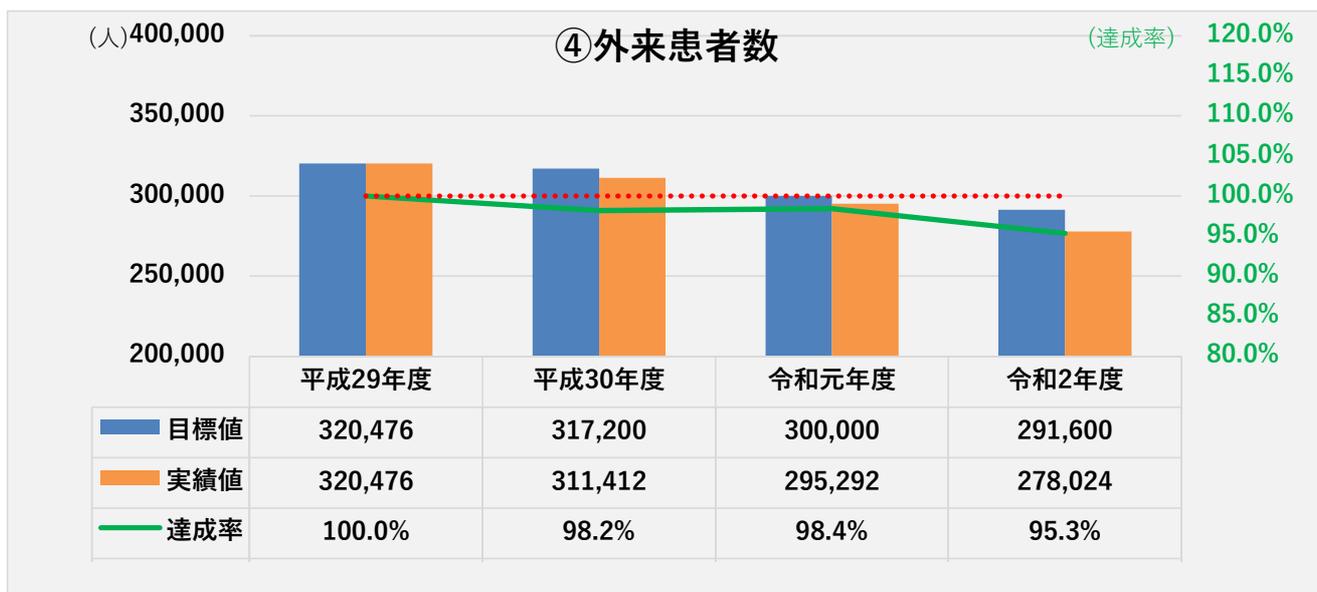
年 度 別 収 益 患 者 数 比 較

項 目	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
(1) 入院収益 (千円)	11,943,825	11,861,082	11,677,910	12,023,171	12,101,949
(2) 外来収益 (千円)	6,550,044	6,471,372	6,500,018	6,569,969	6,741,340
(3) 入院患者数 (人)	177,226	172,681	162,763	165,626	149,759
(4) 外来患者数 (人)	337,605	320,476	311,412	295,292	278,024
平 日 日 数 (日)	243	244	244	240	243

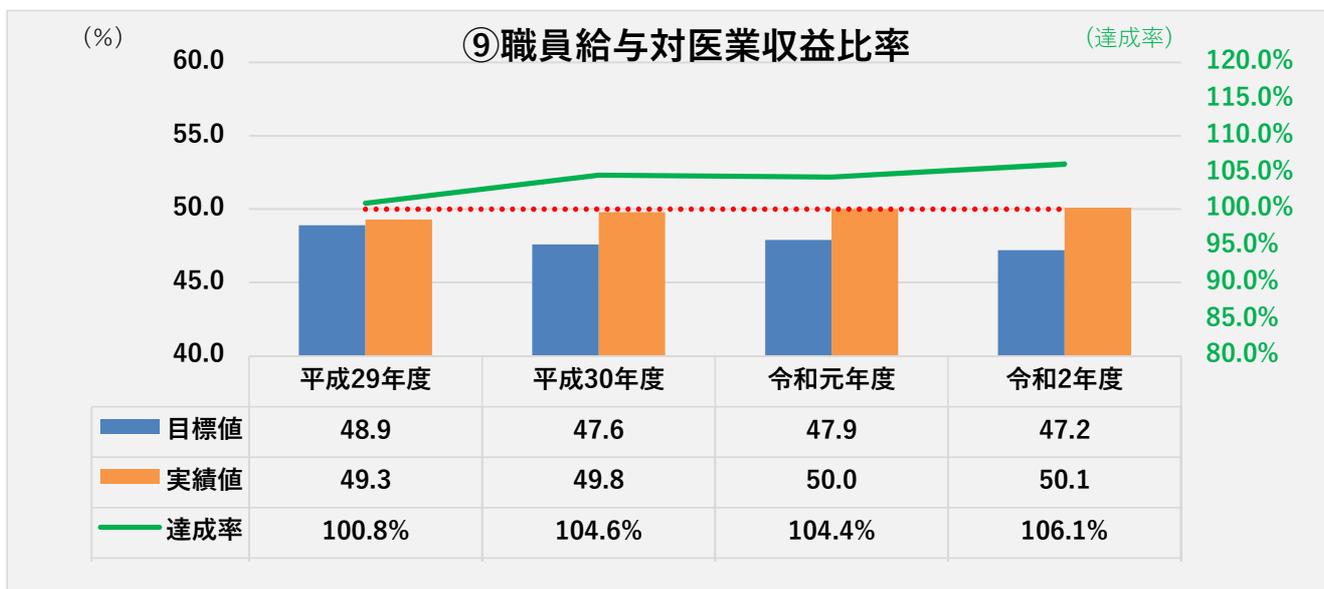
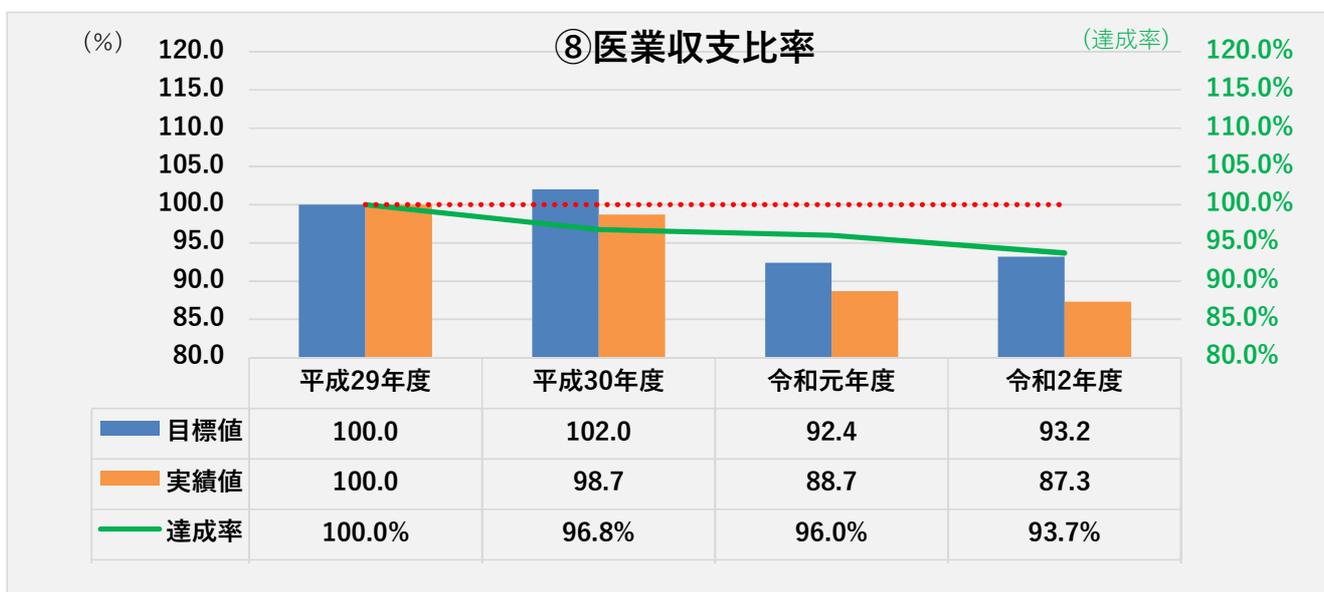
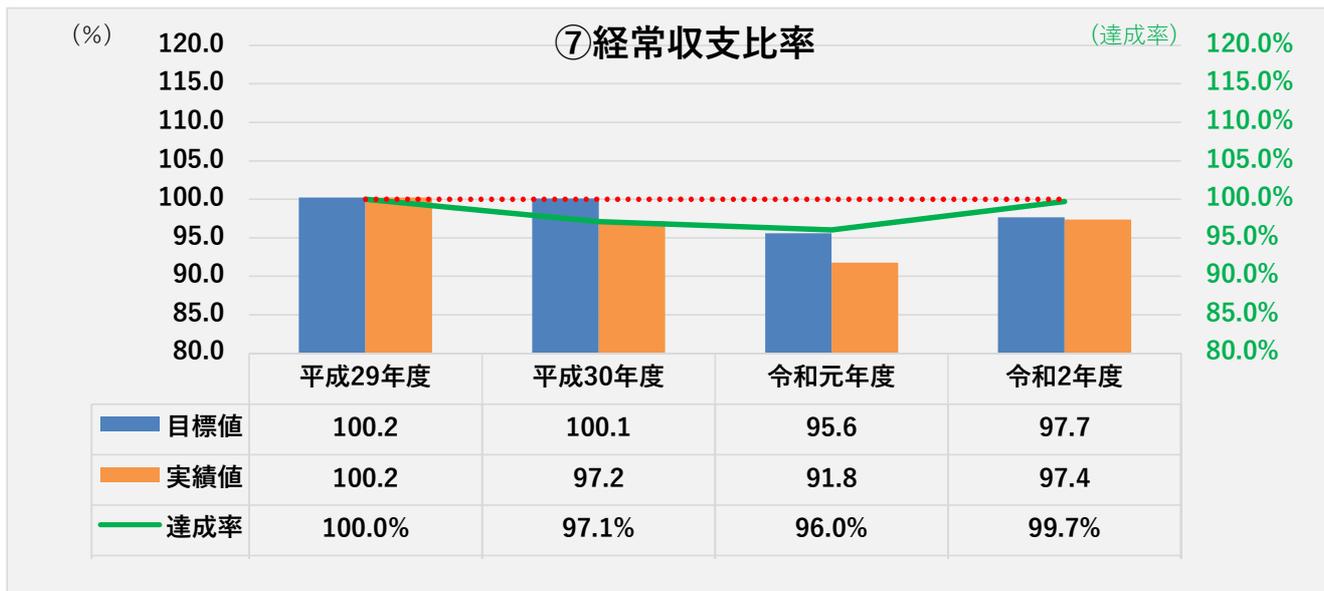
小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



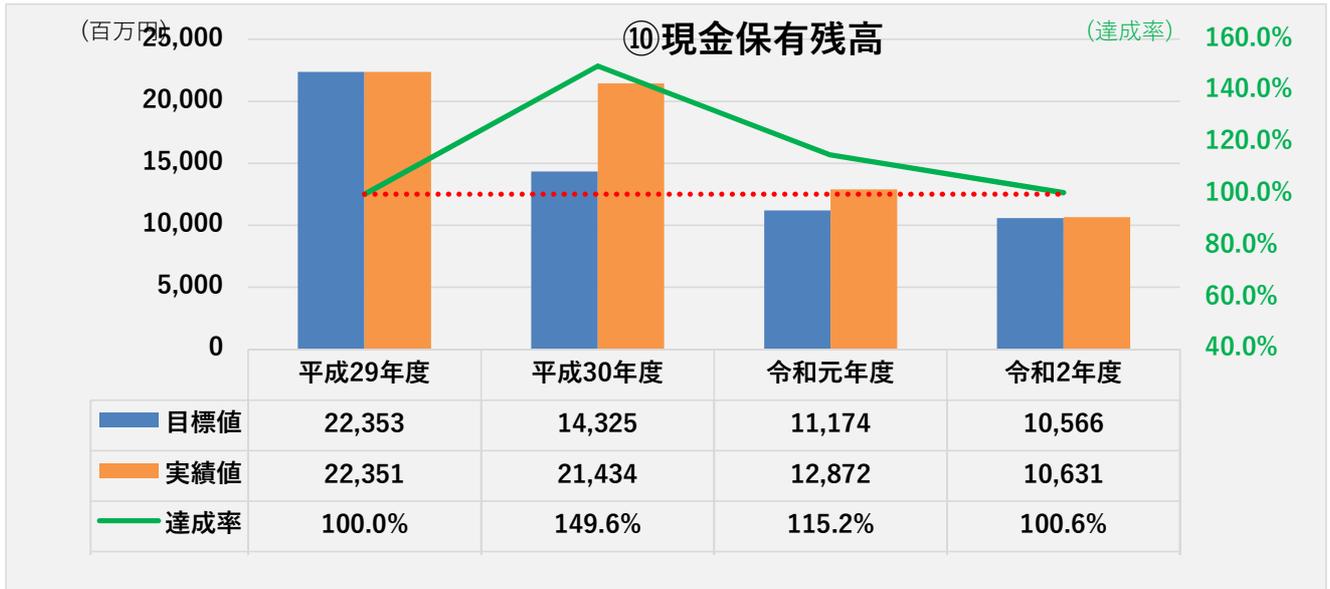
小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



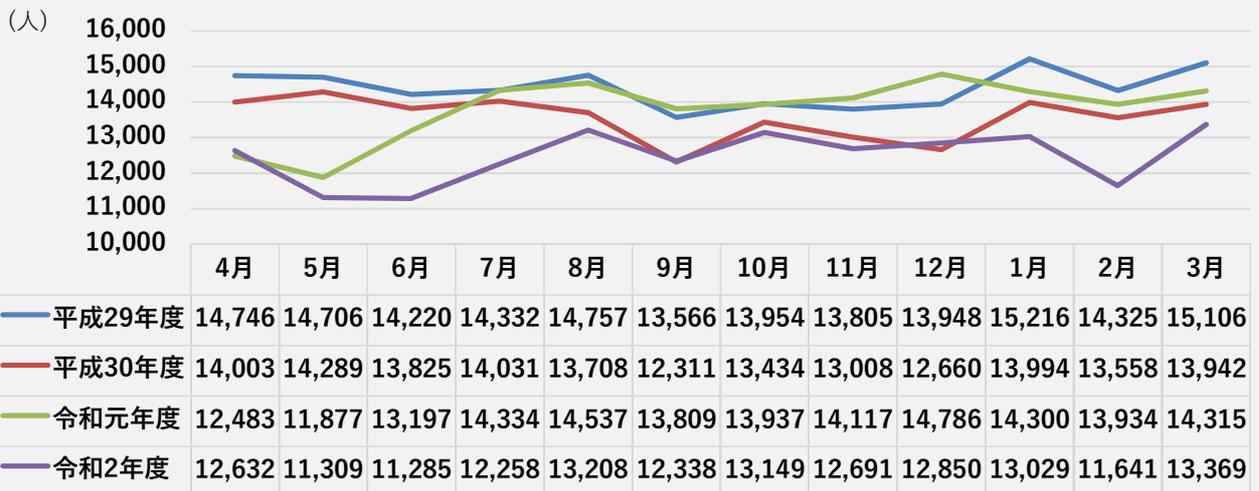
小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



【参考】月別入院患者数の推移



【参考】月別外来患者数の推移

